



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I-19. 現代経済と企業活動**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586005301	科目番号	05860053
授業科目名	●現代経済と企業活動 I (経済活動と社会)		
編集担当教員	福澤 勝彦		
授業担当教員名(科目責任者)	福澤 勝彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	福澤 勝彦		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟3		
対象学生(クラス等)	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	kfuku@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	東南アジア研究所 福澤研究室		
担当教員TEL	経済 内線357		
担当教員オフィサー			
授業のねらい	経済学の視点から豊かさとは何かについて理解すると共に、社会全体にとって豊かさとは何かを自ら考えることができるための基礎的素養を身につける。		
授業方法(学習指導法)	基礎的な概念の提示とそれに係わる議論を紹介すると共に、そこから生じる疑問に対して、各自の回答を求めながら議論を進めていく。そこでの課題について、レポートおよびそれに基づく発表などで参加型の講義を予定している。		
授業到達目標	経済学における基礎的な概念の理解と、それを社会に適用し自ら社会問題に対して説明できる。		
授業内容	第1部 1.豊かさはなにか 理論的な区分け、経済学の考え方 自らの立場を明らかにしてみよう。 2.経済のシステムとGDP豊かさの指標、定義、計算 3.経済成長と豊かさの関係:ゼロ成長の意味と豊かさのあいだ 4.生産性の上昇と豊かさの関係 なぜ経済成長なのか。 5.豊かさの再論:自らの立場の再検討 第2部 6.自由と規制と安全について 7.セーフティネットとしての法制度:豊かさをささえるもの 8.社会補償制度と自由 9.健康保険 10.年金は誰のためか 11.働くことと豊かさ:経済成長の意味 12.日本の雇用と法制度 13.法と企業社会の断絶 14.豊かさの再々論 15.豊かさと自由について(各自の意見表明) 16.試験		
キーワード	GDP 自由 公平 競争		
教科書・教材・参考書	特になし。参考書は適宜紹介する		
成績評価の方法・基準等	講義中の発表20、レポート20、定期試験60 計100点		
受講要件(履修条件)			

本科目の位置づけ	
学習・教育目標	経済の果たす役割を科学的に理解する基本的な態度の涵養
備考(URL)	
備考(準備学習等)	

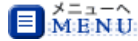


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1792秒です。



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_全学モジュール I -19. 現代経済と企業活動**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20120586006101	科目番号	05860061
授業科目名	●現代経済と企業活動 I (経済政策と公共部門)		
編集担当教員	深浦 厚之		
授業担当教員名(科目責任者)	深浦 厚之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	深浦 厚之		
科目分類	全学モジュール I 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[全]新棟3		
対象学生(クラス等)	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	afukaura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	片淵キャンパス経済学部東南アジア研究所210号室		
担当教員TEL	095-820-6359		
担当教員オフィスアワー	金曜日の12:50から一時間を原則。その他時間の許す限り対応する。		
授業のねらい	自由経済社会においても、政府は重要な機能と役割を持っている。政府の行動が経済活動に与える影響に注目し、同時に我々の生活圏としての「公共空間」の意味を理解する。		
授業方法(学習指導法)	第1回～第7回: 講義により基本的な考え方を学ぶ。 第8回～第15回: 公共政策に関わる具体的な課題を題材に議論し、意見を発表する。ただし社会・経済情勢により課題を変更する場合もありうる。		
授業到達目標	教養教育の全体目標を理解し、各科目の履修を通して関連目標の達成をめざす。以上を通して、物事を多面的に捉え広い視野から考える能力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	人間生活と経済	
	2	ミクロの世界・マクロの世界	
	3	家計と企業の経済活動	
	4	市場の機能	
	5	市場の失敗	
	6	政府の役割(1)	
	7	政府の役割(2)	
	8	個別テーマ(1) 課題の提示「医師不足はなぜ起こるか？」	
	9	個別テーマ(1) 課題に関する討議・発表およびレポート作成・提出	
	10	個別テーマ(2) 課題の提示「環境を汚染する権利」	
	11	個別テーマ(2) 課題に関する討議・発表およびレポート作成・提出	
	12	個別テーマ(3) 課題の提示「社会的弱者とは」	
	13	個別テーマ(3) 課題に関する討議・発表およびレポート作成・提出	
	14	個別テーマ(4) 課題の提示「医療格差問題」	
	15	個別テーマ(4) 課題に関する討議・発表およびレポート作成・提出	

	16
キーワード	公共部門 私的部門 社会的厚生
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。必要に応じレジュメを配布する。
成績評価の方法・基準等	課題に関する期中のレポート(4回各10点)および学期末試験(第1回～第7回の講義に関するもの。60点)により評価する。
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ	教養教育全学モジュール科目モジュールI
学習・教育目標	長崎大学の教育上の目的を達成するため大学教育における基本的教養を会得させ併せて専門の幅広い基盤を理解させる。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	特になし



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.